

【平成29年度のおもな市民参加手続の実績】
(平成30年1月現在)

パブリックコメント	実施件数	5件
市長への手紙・ポスト	受理件数	147件
要望書	受理件数	27件
附属機関など	設置数 (委員数)	61機関 (719人)

※ 附属機関については、法令上設置が義務づけられているものの数を含みます。

アグリコミュニティ千歳
アシストセンターちえりす
えきまち空間ワークショップ
FPスペース千歳
想い出作り配達人
ガールスカウト北海道第31団
子育て応援クラブ
しこつ湖自然体験クラブ*トウレップ
青少年のための科学の祭典千歳大会実行委員会
ちとせITボランティアの会
千歳EメンズClub with マドンナ隊
千歳音訳友の会
ちとせ傾聴ボランティアの会
千歳園人会
千歳権利擁護懇談会(らいとりんく)
千歳更生保護女性会
千歳サケのふるさと村教授会
千歳視覚障害者福祉協会
千歳市家庭生活カウンセラークラブ
千歳市家庭生活宣言推進委員会
千歳市交通安全母の会
千歳市食生活改善協議会
千歳市町内会連合会
千歳市防災マスターリーダー会
千歳市民の飲み水を守る会
千歳手話の会
千歳商店GUYS
千歳消費者協会
千歳女声合唱団
千歳市立駒里保育所父母会
千歳スナッグゴルフ協会
千歳青年会議所
千歳セントラルロータリークラブ
ちとせタウンネット
千歳地方隊友会千歳支部
千歳どんぐりを育てる会
千歳認知症の人を支える家族の会(はまなすの会)
ちとせの介護医療連携の会
千歳パン・料理教室
千歳ひと・魅力まちづくりネットワーク
千歳ひまわり号を走らせる会
ちとせぶっくぼらんていあ
千歳文化財保護協会
千歳ボランティア通訳クラブ
ちとせ・まち魅力検定実行委員会
千歳めいぶの会
中心市街地活性化実行委員会
ナルク千歳
バス路線再編記念イベント市民実行委員会
ブルーファミリア
ぶんちゃん「子ども110番の家」の会
みんなの椅子
もったいないわ・千歳
link つなぐ

社会貢献活動に参加しようとする方への情報提供と、市民活動団体の組織づくりや団体相互の連携(つながり)を促すことを目的に、市内で活動を行っている市民活動団体を登録し、市のホームページで紹介しています。

市民公益活動 団体登録制度

まちづくりへの参加機会を求める方に、必要な情報を直接お届けするメール配信サービス《市民協働情報メールマガジン》の登録を受け付けています。

・登録ページURL

<http://www.city.chitose.lg.jp/docs/3778.html>



市民参加手続

《市民参加手続》とは、市民の皆さんの知らないうちに、大事な政策などが決まることがないように、また、既に実施している市の政策を、市民のニーズに合ったものとして推進するため、情報提供を行い、必要に応じて、皆さんから意見を求める行政の取り組み(意見聴取)をいいます。

情報提供として、広報ちとせの発行や市のホームページの公開、意見聴取としては、アンケート調査やパブリックコメント、市長への手紙、審議会などの各種附属機関の設置などが挙げられます。

市民協働情報 メールマガジン

まちづくりへの参加機会を求める方に、必要な情報を直接お届けするメール配信サービス《市民協働情報メールマガジン》の登録を受け付けています。

・登録ページURL

<http://www.city.chitose.lg.jp/docs/3778.html>

・登録ページURL

《団体登録するメリット》

市民公益活動団体は、平成30年1月現在で、54団体が登録しています。(左の表参照)

① 協働事業の申請

市民活動団体と市が連携して、公益的な事業を企画実施する協働事業へ申請することができます。

② きふ・ともへの登録

定額自動寄付制度《きふ・とも》を活用し、活動の幅を広げることができます。

③ 縁結び事業の活用

市民活動団体や企業が、自主事業として社会貢献活動や人づくり・まちづくりにつながる取り組みを行う場合の《協働(連携協力)》する相手を「募集」または「探す」《縁結び事業》を活用することができます。

イメージキャラクター
むすびん

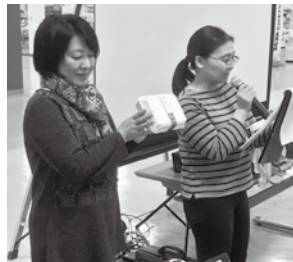


■ 縁結び事業

事業者側から求めるケース、団体側から求めるケース、縁結び事業のあり方はさまざまです。



▲千歳市防災マスターリーダー会と北海道銀行千歳支店の皆さん《AEDを活用した応急手当の仕方》(H29.7.10)



▲FPスペース千歳の皆さんの《千歳産まるかじりウォーキング》で、北海道千歳ハムが協賛品としてハムやソーセージなどの詰め合わせを提供(H29.10.28)

■ きふ・とも

福祉・教育・環境保全などさまざまな分野で社会に貢献している市民活動団体を、市民の寄付によって応援する定額自動寄付制度のことで、市民活動団体と市民の皆さんをつなぐ「100円から始まるあなたの社会貢献」として、北洋銀行千歳中央支店と市が企画した制度です。

人となが、 みんなでつくる。

特集

多様な世代が主役となるまち・ちとせの市民協働



人材
育成

情報
共有

市民
参加

市民協働を進めるためには、情報共有、人材育成、市民参加が必要です。

成19年4月の「みんなが進める千歳のまちづくり条例」施行から、市が、10年以上にわたり推進してきた《市民協働》の理念は、数多くの事業成果と人材を生み出してきました。

今月の特集では、制度や協働事例などを紹介します。

あらためて《市民協働》について考えてみませんか。

市民協働



団体がもっと活性化するためには？

すぎやま じゅんこ
杉山 絢子 さん
(一社)CAN net 代表理事

自分と家族の病気経験や医師として働く中で課題を感じ、平成 25 年に(一社)CAN net を立ち上げ、札幌、旭川、東京の 3 つの拠点で活動中。

皆 さんの市民活動団体はイキキしていますか？

たとえば「メンバーが積極的にボランティアでの活動を手伝ってくれたらいいな」など、特にリーダーの皆さんは、日々悩みを抱えているかもしれません。そんなときにオススメしたいことは、メンバーの一人一人が、どんな「理由」と「気持ち」で活動に参加しているかを、改めて互いに共有しあうことです。「Aさんは、こういうことに興味があったんだ。じゃあ、この活動を手伝ってもらおう」とか、「Bさんは過去にこんな経験をしてきたから、この団体活動の意義を深く考えている。イベントで、その気持ちを話してもらう機会をつくれれば、きっと本人も参加者も有意義なのでは…」など、そんな会話が生まれるかもしれません。個人の「得意」や「エネルギー」をぐっと引き出し、活動に活かすコミュニケーションを、今日から始めてみませんか？

問 い 合 ね せ 先

市民協働推進課
市民協働推進係

☎(24)0452 ☎(22)8852

特集

人とつながる、
みんなでつくる。
多様な世代が主役となるまち・ちとせ の市民協働



市内の1歳から未就学までの子どもと父親が集い、父親の育児参加や地域活動への参加を促す啓蒙と、育児に関する父親同士のネットワークづくりを目的とする《千歳市パパの会》が発足。青葉公園やサケのふるさと千歳水族館をめぐるバスツアーを開催しました。

みんなHAPPY「パパの育児」バスツアー事業

千歳市パパの会

ひと・まちづくり助成事業

- 〇千歳中心市街地の活性化イベント事業
- 〇ベートーヴェン交響曲・序曲・協奏曲 全曲演奏会事業
- 〇千歳まちなかシアター体験教室実施事業
- 〇千歳市吹奏楽連絡協議会主催 演奏技術向上事業

《ほかのおもな事例》

同団体は、市が11月3日に実施した《いとお産の日 in ちとせ》に参画し、「パルンアートショー」を企画。さまざまな形の風船を子どもたちにプレゼントするなど、イベントを盛り上げる一役を担いました。

市民協働推進会議は、実施事業や団体の審査、条例見直しの必要性の検討などを行う会議です。公募市民や団体推薦、市の職員で構成された委員 15 人が、月に1回程度の会議に集まります。

はま かずほ
浜 一穂 委員



あさくら かなこ
朝倉 奏子 委員



たくさんのアイディアと笑顔があふれるまちへ。

こんなにたくさんの団体が、自らの得意分野を生かして市民活動を活発に展開していることを知ることができました。会議を通じて、市民と市、市民と市民のつながりが密になっていくことを実感します。市民が積極的に参加する事業が実施・継続・定着し、市内にたくさんのアイディアと笑顔があふれることを期待しつつ、私も、一人一人が主役の「みんなでつくる・まちづくり」の一員として関わりが持てることを嬉しく思います。

会議を通じて学ぶことを仕事に生かしたい。

会議では思いもつかない視点で質問や意見が飛び交うので、いつも新しい発見があります。どのようなことが期待され、どのように進めればより良いものを目指せるのかなど、事業提案や報告を通して学んでいます。この学びを、自分が携わっている仕事に生かしていきたいと思います。

市民協働推進会議の皆さんに聞きました



あおき ひろあき
青木 広宙 委員長

より良いまちづくりを目指すことが《市民協働》です。

市民の皆さんが中心になったり、市民と市が連携したりと、さまざまな形でより良い千歳のまちづくりの実現を目指していくことが市民協働です。それらを支援できることにやりがいを感じます。会議には、あらゆる立場の方が委員として参加されています。協働事業を推進される皆さんとの多角的な意見交換を通じて、それぞれの活動が、より「力強いもの」となるよう手助けができればと考えています。

協働事業

全小学校区統一規格の《子ども110番の家・安全マップ》を作成〔市提案型〕

ぶんちゃん「子ども110番の家」の会

教委・青少年課

これまで、小学校ごとに作成していた《子ども110番の家》の地図について、すべての小学校区分で統一した規格のものを作成します。教委・青少年課は、学校との調整や既存データの提供を担当し、印刷物の作成や新聞配達にたずさわる有志が集い設立した団体・ぶんちゃん「子ども110番の家」の会は、地図の作成や新たな《子ども110番の家》の担い手募集を担当しました。市と団体が、お互いのノウハウを生かして事業を実施しています。

この安全マップは、本年3月までに作成し、各小学校の子どもたちを通じてご家庭に配布します。団体構成員からは次の感想が寄せられています。「（事業を通じて）転入が多い千歳でも、小学生の子どもがいる家庭では市内転居が多いと感じました。この安全マップが、土地勘がない方の不安解消の一助になれば幸いです。」「安全マップは、見やすく、親しみやすいものを意識して作成しています。これを機に子どもたちが《110番の家》に関心を持つてくれたら嬉しいです。」

《ほかのおもな事例》

- 〇商店街探検ツアー事業
- 〇かつ婚ちとせ開催事業
- 〇市民提案型
- 〇中心市街地賑わい創出事業
- 〇千歳市家庭生活宣言普及事業



▲ 1 月現在作成中の《子ども 110 番の家・安全マップ》。表示記号の統一化や色使いの工夫で、子どもたちにもわかりやすい地図を目指しています。

■ひと・まちづくり助成事業

団体などが自主的に実施する事業に対し、「地域づくり」や「ひとづくり」など、「市民協働によるまちづくり」につながる市民活動を応援するため、必要な経費の一部を助成する事業です。3 年間の事業の場合、補助限度額は 100 万円となります。

■協働事業

協働事業には、《市民提案型》と《市提案型》があります。市民提案型は、市民活動団体が、知識や技術をまちづくりに生かすよう市に提案する事業で、市提案型は、市が提案する事業について、ともに実施する市民活動団体を募集する事業です。

《みんなで、ひと・まちづくり基金》は、協働事業やひと・まちづくり助成事業に活用されています。基金は皆さんの寄付で成り立っています。

協働事業と助成事業